

同時進行型



堺市立深井西小学校
橋田 易子
南 野 三 佳

実践テーマ

自作画像や児童の作品を提示することにより、学習内容の理解を助ける。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉(朝の会) 今月の歌「食品ピラミッド」を歌う。献立コーナーで材料・栄養について話し合う。
- 〈展開〉お弁当づくり (パックに児童自作の工作の食品をつめる)。
- 〈まとめ〉 みんなの作ったお弁当を画面に提示し、感想を話し合う。

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動 | 使用する教材 (デジタルコンテンツ等) |
|-------|--|---|
| 導入 | (朝の会) ・あいさつ・出席しらべ・今日の天気しらべを行う。 ・「食品ピラミッドの歌」を歌う (PC教材)。 ・今日の給食献立で「赤・黄・緑」に分類する。 | ●自作PC教材 使用ソフトウェア： PowerPoint® (Microsoft Corporation) |
| 展開 | 栄養満点のお弁当をつくろう。 ・お弁当の作り方を説明する (PC教材・静止画)。 ・個々に活動する。 (パックに児童自作の工作の食品をつめる。) | ●自作PC教材 ●静止画 |
| まとめ | ・できあがったお弁当をみんなで見る (実物)。 ・友だちの作品を見て感想を話し合う。 | ●実物 (児童作品) |



食品ピラミッドの歌の歌詞と伴奏を提示



お弁当の作り方の説明



児童作品を実物投影機で提示

児童の反応・効果

- ・電子黒板を使用することにより、従来個別指導を必要とした児童が、活動内容を短時間で理解できた。
- ・活動内容を短時間で理解できたことにより、作業にいち早くとりかかることができた。
- ・実物投影機で一人ひとりの作品を拡大提示して見ることで、互いの作品について感想をもつことができた。

活用のポイント

- ・電子黒板を使用することにより、大きく資料を提示し、児童にとって理解しやすい教材提示ができる。
- ・「食品ピラミッドの歌」のように情報量 (歌詞) が多い場合でも、視覚情報を増やし、内容を的確にまとめて伝えることができる。それに関連させながら、在籍する聴覚障害のある児童を考慮して、手話を扱い始めていく。